

給与など 1.5 億円水増し 吹奏楽連盟、事務局長ら解雇

朝日新聞 2020 年 1 月 27 日

一般社団法人・全日本吹奏楽連盟（東京都千代田区、丸谷明夫理事長）は 27 日、給与・賞与を水増しして受け取っていたなどとして、50 代の事務局長と 40 代の事務局次長の男性 2 人を懲戒解雇し、発表した。二重帳簿を作るなどして 2010 年度からの約 10 年間で不正に得た金額は、計約 1 億 5 千万円にのぼるとみられる。連盟は民事・刑事両面で 2 人の責任を追及するという。

記者会見した丸谷理事長らによると、2 人の解雇はこの日あった連盟の臨時理事会で決めた。10 年 4 月からの決算報告書も修正。不正を見抜けなかった責任をとって監事は辞任したという。

事務局長は、正規の給与・賞与に水増し分を上乗せした金額を、自身と事務局次長の給与口座に振り込んでいた。上乗せ額はコンクールなどの会場費や課題曲の楽譜制作費に付けて替えて計上し、理事会と総会に報告していた。その際、伝票類を偽造していたという。

連盟の内部調査に対して事務局長は「給与の上乗せを理事長が認めた」と話したという。丸谷理事長は会見で「(上乗せを認めたことは) 断じてない」とし、「深くおわびする。不正が二度と起きないよう信頼回復に全力を挙げる」と述べた。連盟の内部調査委員会は「正規の給与表には理事長の押印があったが、水増しした給与表を認めた痕跡はない。事務局長の証言には裏付けがなく、信用できない」と判断した。

連盟は「関与した職員を厳正に処分し、チェック体制を見直す」としている。コンクールなどは予定通り実施するという。

連盟は朝日新聞社とともに全日本吹奏楽コンクールなどを主催している。